市報 いしおか

12月号

第20号

毎月1回 20日発行

発行所 石岡市役所
石岡市大字石岡408番地
電話（代表）38
発行人 鬼沢賢造

人口と世帯（11月30日現在）

世帯数		7,218世帯
人口	男	17,470人
	女	18,683人
	計	36,153人

自ら生き抜こうとする青年男女を祝いはげますために、成人の日が制定されました。
成人は、国でも、市でも中核者とならねばならないはずです豊かな教養とたくましい実践力を身につけて、この日を意義深いものにして下さい。

移管される県立母子寮

土地交換を前提とし県から要請

市では市内元真地町城中にある県立石岡母子寮を、市に移管することについて、石岡保健所敷地（市有地）と同寮敷地（県有地）との交換を前提として、県から承認を要請されていたが、去る十五日の市定例議会は石岡母子寮設置条例を可決し、発足は今県会の市移管正式決定をまつばかりとなつた。

過経の大要は次のとおりで❶市の要望とおり寮舎を修繕のうえ、無償で引継ぐ。❷県有地である寮舎付属の敷地三六六坪と市有地である石岡保健所敷地三〇〇坪を無償で交換する。❸その他約千坪の国有地を無償で市が借りうける。❹備品等は現状のまま市に無償で引継ぐ。❺移管後も母子寮として経営する。

市へ移管後は、人件費の節約上、市福祉事務所が掌理する見込である。

消防團條例の改正など

第四回定例市議会

石岡市議会才四回定例会は、去る十五日午前十一時開会され上程の四議案を審議、原案通り可決された。

石岡市消防団條例の一部を改正する條例

消防陣容の統合整備により、方面隊の解消に伴なう方面隊長、副隊長の消滅及び団員の定数千三百六十七人を七百三十七人以内と改める。

昭和三十年度石岡市才入才出追加更正予算

消防機構改革による施設費と石岡中学校の増築工事請負費の増、職員の退職手当等の予算措置にともなうもので更正額次のとおり。

才入
地方交付税 一、八〇〇千円
国庫支出金 九八五千円
寄附金（減） 五六五千円
雑收入 一五九千円
市債 五五〇千円
計 二、九二九千円

才出
役所費 五八五千円
警察消防費 一、六五四千円
教育費 六三八千円
産業経済費 一〇千円
選挙費 一一千円
公債費 一一八千円
諸支出金（減） 八七千円
計 二、九二九千円

石岡市母子寮設置條例別所報

補償を爲すの件別所報

牛車

冬の日は、もう暮れようとしている。家々には夕餉を炊く煙りが立ちのぼり、牛車を挽く農夫は我が家の道を急いでいる。川の水もすかつ枯れて、カタコトと軋く車の音にも、何んとなく寒さが感じられる。

（恋瀬川堤で）

一九〇坪 石中校の増築決る

石岡中学校々舎増築は、三十年度事業として教室五、便所渡廊下、自転車置場等一九〇坪五五合の建築が決定、工費四六〇余万円で去る二十日株式会社山崎工務店が落札、同二十一日着工した。

竣功は明年三月の予定であるが同校は現在、生徒一、〇〇〇名を収容し三年生は一教室に六六名も入つて勉強している現況である。

三百名が六十名

関川地区消防の改編

市消防機構改革による消防団の改編は着々進められているが関川地区では、他にさきがけて編成替を了し去る十四日新団員の任命式を行つた。

関川地区は従来八ケ分団三三五名であつたものを四ケ分団六〇名に整理統合し可搬式動力ポンプを全分団に配備してその強化を図つたものであるなお三村地区でも来る廿八日に任命式を行う予定である。

發令第一号は張込警戒

一日警察署長の川並市長

去る八日午前三時半石岡警察署から訓練非常召集が発令された。

暑員七〇名は、寒空の闇をついて署に参集したが、警視川並要とかかれた署長室に警視の服装をした市長様がチヤカリとおさまつているではないか。

川並市長は、この朝まだき二時半に起されて一日署長の警視サマになつたものであつた直ちに玉村署長ならぬ川並署長による服装点検が実施され飯米一合、旅費三〇〇円等の携行品も厳重に検査された。

サテ才一号命令は。

市内要所十ヶ所の張込警戒で経済違反二名、自動車運転免許違反二名を検挙、一部は密行を実施した。

次の命令は、六時三十七分の石岡発上り常磐線列車の主食取締りで、全署員により行われ違反物資米三十五俵を押收した。

続いて全機動力を発揮した市内示威行進が行われ、石小校庭で一応召集行事を終了し、豚汁の朝食に舌ずつみを打つた川並署長は玉村秘書を従え管内巡視なども行い、一日の激務を終了した。

川並署長ククタになつて「コレでは署長の停年制を施いていただくほかないですネ」と語つていた。

（写真○印は一日署長の川並市長）

市営住宅入居者募集

本年度分市営住宅の入居者を左記により公募する。

記

◇住宅建設場所
才一種 高浜字大作台（高浜駅より徒歩二十分）
才二種 石岡杉並木（国道際石岡駅より徒歩二十五分）

◇種別及び戸数
才一種住宅 一〇戸
才二種住宅 一〇戸

◇規格
木造瓦葺平家一戸建玄関、炊事場、水道付
才一種一〇・五坪 六、四・五三疊
才二種八・五坪 六、四・五疊

◇家賃及び敷金
家賃月額
一種 一、七〇〇円の見込
二種 一、〇〇〇円の見込
敷金 夫々家賃の三ケ月分

◇入居資格
㈠現に市内に居住するか、または勤務する者
㈡毎月の収入合計から扶養親族一人につき千円を控除した額が一種では九、六〇〇円以上三二、〇〇〇円以下二種では六、〇〇〇円以上一五、〇〇〇円以下であること。
㈢現に同居し、または同居しようとする親族（内縁の妻、婚約者を含む）があること。
㈣現に住居に困窮していることが明らかであること。

◇申込方法及び期限
所定の申込書により土木課へ申込のこと（用紙あり）
一月四日から一月十五日迄

◇選考方法
石岡市営住宅管理条例才六条に定める規準で審査し、なお順位を定め難いときは公開抽籤による。

◇入居の時期
一種 二月一日の予定
二種 三月下旬の予定

◇詳細は市役所土木課で尋ねられたい。

なお県営分として建売住宅十一戸（兵崎木比提）は来月末頃才一種住宅一〇戸（杉並）は三月末に完成の見込であるが入居者募集は未定である。

高浜校 給水施設完成

高浜小中学校は高地にあるため、給水が非常に不便であつたので、今回両PTAが主となり約三十万円の寄附金を募つて、給水施設を新設中であつたがこのほど完成した。

工業調査

通産省では市を通じ、本年も十二月三十一日現在で、工業調査を実施することになりました。

この調査は、市や国全体の製造工業の実態を数字をもつて具体的に明示するための調査で経営の皆様の御協力が必要とされていますので、調査員が訪問の際は、よろしくお願い申し上げます。

個人の秘密は法によつて堅く守られています

この目的を達成するためには是非とも製造業

失對事業進む

本年七月から始めた失業対策事業は、市内三ヶ所の道路側溝新設工事を完成し、現在市内から東大橋に通ずる幹線道路の改修工事を実施中であるが、この工事も本月一杯には完成の見込みである。

なお次の施工は三村地内（羽成子地内常磐線踏切から関川県道間）の道路改修工事が予定されている。

公民館結婚式

十二月十四日 三河美能留様 稲見容子様
十二月二十日 原田亨一様 成島けい子様

成人の日

市及び市教育委員会では、成人の日を祝福し、また激励するため来春十五日に、市公民館で成人式を行うことになりました。

独立した社会人として門出する方々に成人章を贈り、県図書館長沼里俊先生の記念講演を計画しています。

該当者は石岡在住の昭和十年一月十六日から十一年一月十五日の間に出生した方です。

お待たせしました

市教育施設組合では、昭和二十九年十二月一日、全二十日二十五日、三十年一月十日に発行された出資証券の利子支払を行つています。

利子請求書を本券から切り離なさず、持参して下さい。

支払場所
市教委事務局（公民館裏）

年末年始

慮礼的贈答は全廃いたしましよう。

「市報いしおか」全国廣報紙コンクールに参加

去る六日、県主催の市町村広報紙コンクール審査会が県庁内で開かれた。

参加数は四十一紙で、最高位に市の部は「市報いしおか」町村の部では「若い町」（那珂郡瓜連町発行）が決定した。

なお、近く行われる全国広報紙コンクールに県代表として参加することになつた。

市役所

の一般事務は十二月二十九日から一月三日まで休ませていただきます。

モデル地区の大砂部落
秋祭りなども廃止する

岡野公民館長

○実生活にマッチした新生活運動は、最近各地で強く叫ばれるようになつてきた市内大砂部落は、昭和二十六年に県生活科学化推進地区に、二十七年には生活改善モデル町に指定され、七〇戸余りのガッシリした古風な構えの家々が柿岡街道筋に点在しているが、家々へ一歩足を踏み入れ生活の科学化されていることに驚かされる。

同部落の公民館長をしている岡野実さんの宅が、まづ屋内電灯は螢光灯、八畳居間の箪笥等の道具類は総べて押入れにおさまり、座敷は最高度に利用されている。

二十五年に大砂公民館の改築運動が起り、用材の供出、寄附金二〇万円を募り一人の反対者もなく、従来の部落集会所を現在の公民館に改築した以来岡野実さんが館長、大久保喜左工門さんが副館長で同館は運営され、産業部、青年部、婦人部、子供部、保健衛生部、生活科学化部、弘報教養部等の部門に分れ、その下に実践班が編成されている。

（大砂公民館で行われた七五三の祝）

公民館の運営費は年間五万円で、うち特殊寄附が二万円、区費として三万円が計上されているが、区費は固定資産税を基準とし四階級に分けて徴収しているという。

会合には殆んど同館が利用され多数の意見が尊重されているので一人の不平者もいない、といつている。

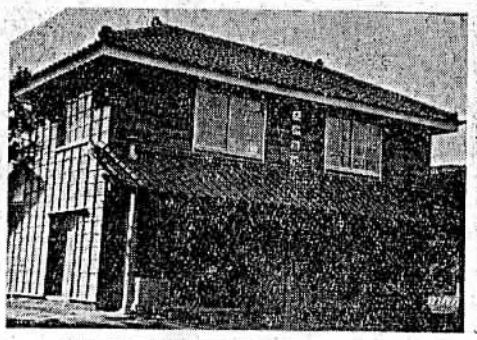
七・五・三の帯解祝も同館が利用され、集つた部落の子供たちの服装は新学期に備えてのセーラー服、学童服ですまされた。

伝統的な秋祭は部落の申し合せにより廃止され、これに変つて本年は勤労感謝の日に同館に集り、公民館活動に努力した者を表彰し、部落民の自作自演の演芸で慰安会を催した。

同部落の生活改善は殆んどがS型式の釜土で改善がゆきとどいている。風呂は長州風呂を使用し、井戸はポンプ井戸といつた具合である。

一昨年、公民館裏に岡野実さんの所有地である耕地を開放し遊園地を造り子供たちの遊び場所としたり、農繁期にはスピカーを利用し、働く人々を慰めたり、盛りたくさんの行事を実施している。

「部落全体が混然一体となり、笑をかもしだすことが才一で



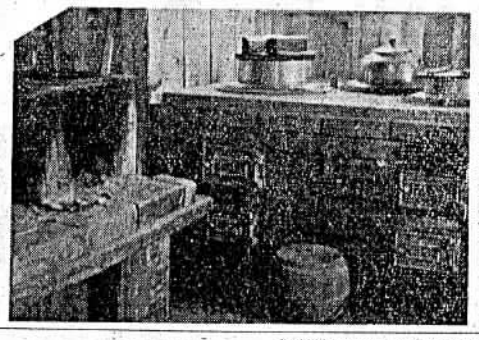


写真　上は大砂公民館の全景下は改良されたカマド（右）と今までのもの（左）

す。できるだけ集る機会を多くし蔭で不満をいう者をなくし円満部落の伝統を運営し、皆さんの努力により一歩一歩新らしい村造りをしたい」と岡野公民館長は語つていた。

また市公民館長は「大砂部落の方々は住みよい部落、新らしい部落にという意欲に、老いも若きも一丸となつており従つて部落が極めて円満で羨やましいようです。当市のモデル地区として大いに今後の前進を希つてやみません」。

輝やかしい成果▼▼▼▼
農地改革十年間の道
▼▼▼▼農業生産力への発展

農業生産力の発展と農村民主化を図ることを目的とした農地改革は、戦後行われた諸政策のうち最も輝やかしい成果をあげたものの一つであるといわれている。

昭和二十年八月十五日戦争は終結したが、農業生産は減退し、深刻な食糧難が襲来してきた。

しかし、農地制度を解決することなしに農民に対し農業経営にはげみ、公定価格で生産物を供出させることを要求できないことは明かであつた。

そこで次々と農地制度の改革が実施された。

このように実施されてきた総仕上げはどうであつたろうか当市の状況を振り返つてみよう。

農地改革の中心をなす農地の解放の変化を市が実施している農業基本調査により、年次別にみると次表のようになる

農地改革前後における自小作農家戸数の変化

年次	自作農	自作兼小作	小作兼自作	小作
昭24年	30%	35%	19%	16%
27	57	27	6	10
28	54	31	6	9
29	55	32	6	7
30	57	32	7	4

〔注〕二十八年には町村合併があり全体的に変化があつた。

二十五年及び二十六年の資料を得られないが、これによると自作農創設のピークは、二十六年及び二十七年であつたように思われる。

自作農創設特別措置法の総けじめは買収したもの一、四四二町歩で、このうち九八%にあたる一、四一七町歩が耕作者に売渡されているが、この面積は総小作面積の七・六割にあたる。この外二十五年以来の強制譲渡による一〇町歩の自作地が創設され、さらに農地法によつて引続き七町歩が創設されている。

この外に一九町五反歩（三六七件）の宅地、二五七坪（七件）の建物等の附帯施設もあわせて解放された。

未墾地の解放をみると市が計画して買収したもの四二町歩県が計画して買収したもの一四五町歩、計一八七町歩に及び

模範校として紹介せよ

小生は水戸より土浦まで常磐線沿線の主要学校陸上運動会を見学したが、石岡二高の右にでるものがなかつた。このような宝を抱いている当市は、全国へ石岡市を知らせる意味にも同校を模範校として広く紹介すべきではないか、市発展上からみても緊要なことと信じ関係者の猛省を促したい。

（SO老生）

市民の声を聞いて歩く

問　夏の頃の市広報紙に、市の連絡員による各家庭を廻つて市政についての私たちの希望を、聞いて歩くということがありまして心待ちにしていましたが、いまだにその様子がありません。どうしたのでしようか。（金丸町　勤人）

答　市報七月号「外勤職員にサービス帳」の記事についてのお尋ねと思います。これは市の徴収課員、保険衛生課員福祉事務所員など皆様の家庭を訪問する職員に連絡帳を持たせ、皆様の御意見御要望を関係各部に御連絡申上げるということで既に実施中でありSO氏は各校の比較優劣を詳細に記して寄せられました。原文は関係学校へ廻付しました。（係）

高額滞納者の整理

問　赤字に悩む石岡市の滞納整理方法について一言

高額滞納者の整理は出来ないものか、またこの滞納は商工業者に多いではないか、これを整理してから小額滞納者の整理を行つて貰いたい。（三村　五島生）

答　十一月十日より十二月二十七日まで市税完遂強調期間を設けて滞納一掃に努め特に多額滞納者に対して重点を置き、租税力があるにも拘わらず納付しない所謂悪質者と認められる者に対しては強徴処分を以て臨み、小額滞納者と雖も負担分任の原則により件数の累増している者に対しては多額者と同様の方針で整理しており、あくまで公平な徴税の整理を断行しています。（徴収課）

「父や母がないために雇つてもらえない……。」このようなかたは、公共職業安定所にご相談下さい。

ふん尿貯溜槽を計画
農林公庫融資八十万円で

石岡農協組合が、ふん尿共同利用貯溜槽を設置する資金八十万円＝農林漁業金融公庫融資＝は、今市議会で、市がその補償をなすことを承認された。

着想は、市街地から二キロ離れた市の周囲に三段式貯溜槽を十ケ所設置し、八百石のふん尿を処理するという。

市から排出される一日のふん尿の量は約百二十石で、うち六十石が農家により、残りの六十石が衛生汲取業によつて処理されているようだから、長期の新陳代謝の関係はちよつと無理かも知れないが、遂次増設していくと関係者は語つている。

惠まれない方に同情
年の瀬を迎え市内の惠まれない人たちへと市福祉事務所を通じ次の寄贈がありました。

○当地で行われた前進座演劇の利益金からと後援会長矢野文雄氏は金五千円也。

○金丸町四部浦井悦子さん、仝六部池田光子さん＝いづれも石小四年生＝は衣類その他四十五点。

○石岡二高家庭クラブ一同は金三千五百円を、同校赤十字団は餅米二升、米三升、その他

○金丸町善隣幼稚園はクリスマスの献金一千八百六十二円

○香丸町花塚多三次氏は糖密二百二十本（一本一升入）

法により従来にない低い金額を示すに至つている。これにより小作農、自作農を問わず農業生産に対応しうるようになたのであるまいか。

室ケ井の井戸供養
市史蹟保存會が

去る十八日市史蹟保存会＝会長山口誠太郎＝では、平等寺住職石井堯順師の供養読経により、由来の深い史蹟〝室ケ井〟の井戸供養を行つた。

これは市内貝地町　農業桜井ゆきさんが「このような由緒ある史蹟地を私有すべきでない」と寄附を申し出た美挙により、市では寄附の受入れを了し、この供養が行われたもの。また同会は、ここを整地して薬師如来を祀る計画を行つている。

なお、川並市長から桜井さんへ感謝状が贈られた。

室ケ井は、富田町の東方の田甫の中にあり、当市の古い史蹟〝府中六井〟の一つで、昔井戸を堀る術の知らなかつた頃、泉の湧きでる処に人が集つて共同の生活が始められたと伝えられる。

うきよ往来　十一月分

出生　三〇人　死亡　二二人

◇出生

町名	父の名	続柄	出生児
宮下	久雄	長男	桜井利光
元眞地	重二	二女	平順子
〃	元雄	五女	青木紹子
〃	稔	二男	久保田至文
中町	孝雄	二女	北村万利子
若松	皓一	長女	小久保典子
〃	弘光	三女	奥村文枝
国分	吉三	〃	高柳美知子
〃	幸蔵	二男	和田博史
金丸	義二	〃	鈴木隆之
〃	大男	〃	加納隆
〃	竹茂	長男	関谷眞
〃	信敏	二男	篠原光二
〃	清祐	二女	川岸朋子
守横	昭	〃	福田洋子
宮田	明	長男	玉田慎
茨城	正男	二男	大島利光
兵崎	明	三男	坪井正次
荒金	四郎	長男	石川勇市
半木	長吉	六男	杉村晋
鹿之子	好久	長男	島田昌臣
染谷	清三	二男	長谷川祥祐
高浜	幸治	長男	曳沢正志
〃	篤美	長女	高木玲子
東大橋	操二	二男	富田悦郎
三村	孝吉	長女	岡部恵子
井関	博二	二男	木間塚賢二
石川	一雄	長男	小松崎孝雄
〃	進二	二男	福田隆一郎
〃	富三	長男	森田

◇死亡

町名	死亡者	年令
宮下	榎本さあ	六四
幸町	前島さた	八五
土橋	小野間要子	六六
〃	井坂曽太郎	六三
〃	上原彦兵衛	四五
〃	石丸甚四郎	六六
〃	若松太郎	七九
香丸	井上寿	五九
〃	横川渡辺川	三五
守谷	中根本由之助	八六
行里	不二夫	四二
正寺	上川内	二七
〃	渡辺秀夫	二八
〃	中崎うた子	一一
〃	永沼輝子	三一
〃	小川亀之助	五六
〃	山津しも	七五
〃	鈴木義光	三一
〃	小吹正治	三三
高浜	佐々木寺	一一
〃	高野根広	八八
染谷	中村五百子	一一
〃	小松崎塚登	四九
〃	木間塚よし	一〇
東大橋	小松崎	八
〃	井関	九